

ディ ィ ブ ロ マ ・ ボ リ シ ー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多様な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容		地域や社会のために、また、自らの視野や活動を主体的に広げるために、体系的に理解した幼児教育・保育・福祉に関する情報や知識を活かすことができる。	こどもや地域社会に積極的に、且つ柔軟に関わりながら、自己と他者の相互理解を継続的に深めることができる。	自身の良心に従い、「こども芸術」の力を人のために社会で活かすことができる。	自らが構想した活動を通じて、「こども芸術」の意義や可能性を論理的に思考することができる。また、他者が共感できる文脈を意識しながら、自らの活動を論理的に他者へ伝えることができる。	自らの疑問や興味関心を出発点とし、こども・他者との共感や共生を目的とする研究・制作テーマを生み出すことができる。また、マテリアルとメディアを適切に選択し、そのテーマを具現化できる。	研究・制作を通して教育・保育・福祉の現場や社会課題に問いを投げかけることができる。また、こども芸術における「あそびごろ」をもとに、自らのテーマを他者・社会に向けて演出・提示できる。

学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（資格免許関連科目）	芸術教養科目（選択）※履修推奨
----	---	----	----------	----------	------------	------------------	-----------------

4	16	発展			保育・教職実践演習（幼稚園） （2単位） 保育者の資質・能力												
					教育実習2（2単位） 教育課程とクラス運営の理解												
			卒業研究・制作（8単位） マテリアルと共に考える														
			教育相談（2単位） 教育相談の基本的知識、技術を学ぶ				幼稚園教育実習指導2（1単位） 幼稚園実習の事前事後指導										
						教育実習1（2単位） 幼稚園における保育の実際とこども理解		子育て支援論（1単位） 子育て支援内容の方法及び技術		マテリアル・プラクティス5 （2単位） マテリアルを届ける							
3	13	応用	教育者論（2単位） 教育者の役割・資質		音楽とあそび2（2単位） 保育者に必要な音楽的表現技術		幼稚園教育実習指導1（1単位） 幼稚園実習の事前事後指導				マテリアル・プラクティス4 （2単位） マテリアルをデザインする						
			進級研究・制作3（4単位） フィールドワークへの展開														
			こども家庭支援の心理学（2単位） 子育て家庭への支援の基本				施設実習3（2単位） 地域社会における福祉施設等の役割 と他機関との連携・協働										
							保育所実習2（2単位） 地域社会における保育所の役割 と子育て支援										
11			こども家庭支援の心理学（2単位） 子育て家庭への支援の基本				保育実習指導3（施設）（1単位） 施設実習の事前事後指導		特別支援教育概論（2単位） 特別支援教育の基本		展覧会デザイン（2単位） 「テーマ」と「インストール」		マテリアル・プラクティス3 （2単位） 展示し社会にひらく				
							保育実習指導2（保育所）（1単位） 保育所実習の事前事後指導				保育内容（表現2）（2単位） 乳幼児期の育ちと領域「表現2」						
	10					こどもと表現2（1単位） 乳幼児期の「表現」と発達理解		保育所実習1（2単位） 保育所における保育の実際とこども理解		乳児保育（実践）（1単位） 乳児保育における援助技術		マテリアル・プラクティス2 （2単位） 制作と言語化					
										教育方法の理論と実践（2単位） 保育・教育の方法と技術に関する 基礎的理解							
9			教育制度論（2単位） 教育制度の基本		音楽とあそび1（2単位） 保育者に必要な音楽的表現技術		保育実習指導1（保育所）（1単位） 保育所実習の事前事後指導		マテリアル・プラクティス1 （2単位） 言語化とテーマの設定								
			こども家庭支援論（2単位） 子育て家庭に対する支援の基礎理解														
			就職対策特講（1単位） インターンシップ・就職活動に向けて、 準備＆実践する														
2	8	基礎	進級研究・制作2（4単位） マテリアルデザインと「こども芸術」														
			乳児保育（理論）（2単位） 乳児保育の基本				施設実習1（2単位） 居住型児童福祉施設等における 生活支援とこども理解		こどもの健康・安全（1単位） こどもの健康と安全についての基礎理解								
			キャリア研究応用（1単位） 自己と職業への理解を深め、インターン シップの準備と実践を行う				保育実習指導1（施設）（1単位） 施設実習の事前事後指導										
			人権教育2（1単位） 人権問題を学び、その問題の解決 に向けて考える				社会的養護（実践）（1単位） 社会的養護における援助技術										
			カリキュラム論（2単位） 保育の計画及び評価		保育内容（環境）（2単位） 乳幼児の育ちと領域「環境」								マテリアルとデザイン3（2単位） 数量、図形、文字の「アレンジ」				
			社会的養護（理論）（2単位） 社会的養護の基本														
			心と身体の健康（1単位） 生涯にわたり健康的な生活を 送るための基礎的理解														
			人権教育1（1単位） 日常生活における「人権」の再認識														
			6			美術史2（1単位） ヨーロッパの美術の基礎的な歴史を学ぶ		保育内容（人間関係）（2単位） 乳幼児の育ちと領域「人間関係」		保育・教育基礎実習（1単位） 保育現場での職業体験		こどもの食と栄養（2単位） こどもの育ちと食についての基礎的理解		マテリアルとデザイン2（2単位） 「コレクト」と「セレクト」			
						デザイン概論（1単位） 「デザイン」とは何か？								こどもと環境（1単位） 乳幼児期の「環境」と発達理解			
			5			こどもの保健（2単位） こどもの発育・発達の基礎理解		保育内容（健康）（2単位） 乳幼児の育ちと領域「健康」		農演習1（2単位） 暮らしを学ぶー有機農法				マテリアルとデザイン1（2単位） 「あそび」を深める「記録」			
						美術史1（1単位） 日本・中国の美術の基礎的な歴史を学ぶ		スポーツ実技（1単位） 体力・コミュニケーション力の向上		こどもと人間関係（1単位） 乳幼児期の「人間関係」と発達理解							

ディ ィ ブ ロ マ ・ ボ リ シ ー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多元的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容		地域や社会のために、また、自らの視野や活動を主体的に広げるために、体系的に理解した幼児教育・保育・福祉に関する情報や知識を活かすことができる。	こどもや地域社会に積極的に、且つ柔軟に関わりながら、自己と他者の相互理解を継続的に深めることができる。	自身の良心に従い、「こども芸術」の力を人のために社会で活かすことができる。	自らが構想した活動を通じて、「こども芸術」の意義や可能性を論理的に思考することができる。また、他者が共感できる文脈を意識しながら、自らの活動を論理的に他者へ伝えることができる。	自らの疑問や興味関心を出発点とし、こども・他者との共感や共生を目的とする研究・制作テーマを生み出すことができる。また、マテリアルとメディアを適切に選択し、そのテーマを具現化できる。	研究・制作を通して教育・保育・福祉の現場や社会課題に問いを投げかけることができる。また、こども芸術における「あそびごころ」をもとに、自らのテーマを他者・社会に向けて演出・提示できる。

学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（資格免許関連科目）	芸術教養科目（選択）※履修推奨
----	---	----	----------	----------	------------	------------------	-----------------

1	入 門	進級研究・制作1（2単位） 「あそび」を表現する								
		こども家庭福祉（2単位） こども家庭福祉の基本		保育内容（言葉）（2単位） 乳幼児の育ちと領域「言葉」			芸術基礎演習2（2単位） Illustratorを中心に グラフィックデザインの基礎を学ぶ			
		日本国憲法2（1単位） 表現の自由と法の下の平等を考える		こどもと健康（1単位） 乳幼児期の「健康」と発達理解						
		アカデミックライティング（1単位） 研究・制作のためのレポート・ 文章の書き方を学ぶ								
		保育原理（2単位） 保育の本質		こどもと言葉（1単位） 乳幼児期の「言葉」と発達理解			マテリアルとあそび3（2単位） 「あそび」を工夫する			
		幼児理解（2単位） 幼児理解の理論と方法		キャリア研究基礎（1単位） 理想の学生生活・将来設計（進路） をつくる						
		芸術基礎演習1（2単位） IllustratorとPhotoshopの基礎を知る								
							クリエイティブプロジェクト（4単位） 個人力と協働力、相互理解を通じて集団 でひとつの課題に取り組む			
		芸術教養論（1単位） 大学での学び方を学ぶ		音・歌あそび（2単位） 音・歌あそびと意義と実践		社会福祉（2単位） 社会福祉の本質		マンディプロジェクト2（2単位） 協働で正解のない問いにのぞむ		マテリアルとあそび2（2単位） 光・影、紐、紙を操作・調整する
				専門英語（2単位） 多文化理解と英語力					保育内容（表現1）（2単位） 乳幼児の育ちと領域「表現1」	
		教育原理（2単位） 教育の本質		こどもと表現1（1単位） 乳幼児期の「表現1」と発達理解		芸術立国論（1単位） 京都芸術大学を学ぶ		マンディプロジェクト1（2単位） 個々の学修姿勢のベースをつくる		マテリアルとあそび1（2単位） 水、土、石、砂と出会う
		発達心理学（2単位） 発達と心理の基本							コンピュータ演習（2単位） PCの基礎技術と アプリケーションの運用	
		日本国憲法1（1単位） 日本国憲法というフィルターを通して 日本社会を見つめ直す								